

特選

文部科学大臣賞

苦い経験から学んだお金の大切さ

大阪府・貝塚市立第四中学校 3年 岩波 彩香

「えっ何これ。ど、どうしよう。」

パソコンの前で、私の顔がひきつっている。一瞬、何事が起こったのか、自分でも理解できずにいた、そんな私にとっての一大事件が起こったのは、中学2年の2学期の終業式の日だ。

私は、パソコンで色々調べる事が好きで、その日もパソコンに向かっていた。学校から帰ってちょっと一息ついた後、インターネットの色々なサイトを開いて音楽の事、知りたい情報について見ていた。父も母も仕事で留守だけど、パソコンを使う時の我が家のルールは、きちんと守っていたから、何の後ろめたさもなくパソコンを楽しんでいた。ところがどうした事か突然、画面に出た「ハイ」のボタンをクリックした事から、思わぬ事態になってしまったのだ。「入会有難うございます。あなたは会員として登録されました。2週間以内に4万3,500円を振り込んで下さい。」こんなメッセージが表示されたのだ。私は、頭の中が真っ白になってしまった。私はこんな登録をした覚えがない。でも、何度目をこらして見ても間違いなく私にお金を請求してきている。私はとっさにその会員登録されたというサイトに、自分が中学生で、そのようなお金を払う事ができないので、キャンセルして欲しいという内容のメールを送った。ところが5分と経たない内に「一度登録すると退会の為に更に料金がかかります。」というメール文が送られて来たのだ。私は父や母にお願いして、この代金を支払ってもらうしかない。これ以上自分でどうする事もできないとしょげたまま母の帰りを待っていた。夕方仕事から帰宅した母は、私の様子がおかしい事にすぐ気づき、一通り話した後、後は父が帰宅して、もう一度父と母の前で説明させられた。

「で、彩香はどうするつもりや。」

父は、私の話を聞き終えて尋ねてきた。

「自分でしてしまった事やから自分で責任を取る。でも手持ちにそんなお金無いから、預かってもらっているお年玉や御祝いのお金から払って欲しい。」

そう答えた。すると父は、とても真剣な顔をして私に言った。

「彩香、気付いへんかな。そのお金は本当に払わなあかんお金かな。お金ってそう簡単

に動かして良いのかな。お金を使う時には、その意味や理由をちゃんと考えないと。」父の言葉で私は、ハッと目が覚めたような気がした。そして父は続けてこれが振り込め詐欺の一種である事を教えてくれた。私が何かパソコンの操作を間違えた事からいわゆる大人向けのサイトにつながり、一度「ハイ」とクリックしただけで、キャンセルのできない会員登録と見せかけ高額な請求をする犯罪行為だと知ったのだ。日頃からテレビや新聞などで、家族になりすましたり、人の弱みにつけ込んだ悪質な振り込め詐欺がある事もわかっていながら、私自身も危うくそのワナに引っかかってしまうところだったのだ。一人であせって冷静さを失い、キャンセルをしたいと相手にメールを送った事で、こちらのメールアドレスが相手に知られてしまい、かえってややこしい事になってしまった事も後で父から注意された。父は決して怒らず、ただただ私のお金に対しての意識の乏しさを教えようとしてくれたのだ。身に覚えがない事なのに、取りあえずお金を払えば解決できると思い込んでしまった私。父に言われた意味あるお金の使い方など全く考えもしなかった。私の成長を祝って、その時に必要な物や、またこれから必要な物をそろえる為の足しにと、祖父母や親戚の人からもらった御祝いやお年玉を、こんな犯罪行為を手助けするようなお金として使おうと考えてしまった自分が恥ずかしい。

私はまだ中学生で、自分が手にするお金は両親や祖父母、また私の為にと思ってくれる人達が、汗水流して働いたり、生活の中から蓄えてきた大事なお金だ。自分の手に入れば私の物ではなく、ここまで来るのに、どんな人の苦労や気持ちがあったのかも考えて、正しい使い道を選択していかなければいけないと思った。世の中には絶えずお金が動いている。お金が動く事で私達の生活も成り立っている。でも、そのお金に自分達が振り回されるのではなく、正しい使い方を考え、行動する事でより良い社会を築く事にもつながっていくのだと思う。一人一人の大切なお金が犯罪に巻き込まれる事の無いように、まずこの自分の苦い経験を周りの友達にも伝えていこう。そして自分自身も、冷静な判断力を失わないようにして、生きたお金の使い方をできるように心がけていきたいと思う。

